

ファブテックシリーズ 注意事項

選択上のご注意

- 淡色の場合、汚れが目立ちやすくなります。選定時には色についても充分ご配慮下さい。
- 下地から絶えず湿気の上昇が予想される場所では使用を避けて下さい。接着不良や臭気が発生する事があります。

！
コンクリート系下地の場合、そこにアルカリ性の過剰な水分（「高周波水分計HI-520-2型D、MODEで440以上＝水分指標8%～」以上が目安）があると、塩ビ樹脂中に含まれる可塑剤が分解して、異臭（アルコール系）が発生した事例があります。施工前に、必ず高周波水分計「HI-520-2型」で水分指標を確認し、水分指標が高い場合は、充分乾燥させて下さい。

- 建築基準法・消防法によって使用方法ならびに使用場所に制限があります。各法令法規をご確認下さい。防災上、壁面の仕上げ材として、内装制限が設けられていますが、居室等において床面上1.2m以下は内装制限から除外されます。また居室・通路・階段等においてはスプリンクラー等自動式のもの及び施工令126条の3の規定に適合する排煙設備を設けた部分において内装制限から除外されます。
- 本カタログの掲載写真の一部に合成写真を含みます。
- 本カタログ掲載の写真や画像は、現物と若干違いのある場合があります。ご採用の際には必ずサンプル帳などでご確認下さい。

施工上のご注意

- 施工の前に「東り施工マニュアル」をご一読下さい。

ファブテックタイルのご注意

- 製品の指定の接着剤を使用して下さい。
- 二重床に施工する場合、またぎ貼りを基本とし、二重床パネルの目地がファブテックタイルのほぼ中央にくるように割付けて下さい。詳細は「東り施工マニュアル」にてご確認下さい。
- 施工後、台車の往来や家具の移動によって過度の応力がかかると、タイルが剥がれる事があります。重量物を往来させる際には合板などで保護して下さい。
- ファブテックタイルよりも全厚の薄い製品を貼り合わせる際は、必ず段差調整材などを使用して下さい。
- 段ボール箱からの取り出し時に製品が滑り出る事があるため充分注意して下さい。
- 製品の特性上、端部が硬くなっているため、軍手を着用するなど取扱いには充分注意して下さい。
- 床暖房上でのご使用はお避け下さい。
- タイルカーペット用アンダーレイシートへの重ね貼りはお避け下さい。
- 水を直接持込む可能性のある部位では、耐湿工法用の接着剤を使用して下さい。

メンテナンスならびに使用上のご注意

■ メンテナンスのご注意

- 汚れが付着した際には、すぐに汚れが広がらないように注意して拭取って下さい。時間の経過と共に除去しにくくなります。なお、汚染物質によっては除去不可能なものもあります。

！
日常メンテナンスは、美観の維持およびホコリ防止のため、電気掃除機あるいは固く絞ったモップ、タオル等で汚れを取除いて下さい。業務用スペースでは、日常メンテナンスと併せて用途に応じた定期的な集中メンテナンスをおすすめします。

ファブテックタイルのご注意

- 表面の織目に付着物が残っている場合はブラシ類を使用して掻き出し、雑巾等で軽く拭いて下さい。
 - ワックスは使用しないで下さい。
- *詳しくは「ファブテック」サンプル帳もしくは東り営業所へご連絡下さい。

■ 使用上のご注意

- 下地に段差・隙間・凹凸がある場合は、その程度によってタイルの表面に目立って現れる事があります。また、目地部に段差のある場合、目地部の芯材が出たり、ホツレ、傷の原因になりますので、平滑な下地に施工して下さい。
- 化学薬品や強い作用を持つ洗剤・漂白剤等により、変退色や変質を招く可能性があります。こぼさないようにして下さい。
- ある種の家具の脚ゴムやゴムマットなどのゴム製品、塗料、防腐剤、防虫剤などによって汚染され変退色を招く可能性があります。これらに直接触れないようにして下さい。
- 長時間直射日光が当たる場所では、変退色を招く可能性があります。カーテンやブラインドなどによる日よけ、換気を心がけて下さい。
- ファブテックタイルの上にホットカーペットを直に敷かないで下さい。ホットカーペットは裏面でも温度が上昇するため、長時間同じ場所に敷いていると、ビニル床材の変質・変色の原因になります。電気機器メーカーの使用上の注意をご確認いただき、ホットカーペットの熱がビニル床材へ直接伝わる事がないようにご注意下さい。
- 部分的にシミとなった汚れを除去する際は、汚れの原因に応じたシミとり剤や中性洗剤などを使用して下さい。選択を誤るとかえって変色などを招く可能性があります。
- 素材固有の臭いがあります。換気を心がけて下さい。

ファブテックタイルのご注意

- 重量物や車輪によるしごき、ハイヒールや家具などの局部荷重により、タイルの表面にキズや膨れ・へこみ跡が生じる可能性があります。
- タイルの目地部が水などで濡れた場合は十分に水分を拭取って下さい。特に木質系下地の場合は、水分の影響により下地を傷める原因になる事があります。

！
水濡れや砂が飛散した状態では滑りやすくなり転倒事故を招く可能性があります。土砂の持込みなどが予想される場所では、DC-1100・RC-1200やダスコンマットを出入口に設置し、室内に土砂が持込まれないようにして下さい。持込まれた際には即座に除去するようにして下さい。磨耗・傷付きを防ぎ、美観を保持するだけでなく、寿命を延ばす効果があります。

ファブテック腰壁のご注意

- 重量物が腰壁に過度の衝撃でぶつくと下地を保護するまでの機能はありませんので、ご注意下さい。